



event イベント情報

第37回 飯田やまびこマーチ

日程 令和5年 4月22日(土)・23日(日)
 会場 飯田中央公園
 参加費 高校生以上(2日間):2,000円
 高校生以上(1日間):1,000円
 中学生以下:無料
 ※飯田下伊那居住者

申し込み期限 令和5年3月31日(金)まで
 ※飯田下伊那地域にお住まいの方は
 当日受付を行います。

飯田やまびこマーチは今年で37回目の開催となります。街中を散策する短いコースや、市内の公園を巡る少し長めのコースなど、家族で気軽に参加できるコースがいくつも設定されています。小春日和の飯田を、のんびり散歩すれば、きっと新しい飯田の魅力を発見できるはず。ぜひ、ご家族のふれあいのひとときとしてご参加ください。

申し込み詳細はHPへ▶
 問い合わせ先 0265-21-3001
 (飯田やまびこマーチ実行委員会事務局)



オーケストラと友に音楽祭(オケ友)2023

日程 令和5年 5月3日(水)~6日(土) 期間中は様々なコンサートが開催されます。詳しくはHP等でご確認ください。
 会場 飯田文化会館 他

オケ友音楽ひろば

日程 令和5年 5月5日(金)
 会場 飯田文化会館

1 コンサート(14:30~) チケット必要
 オケ友音楽ひろば
 ~オーケストラからの贈り物~

みんなの憧れ、ヴァイオリン!
 目・耳・体で、弦楽器の魅力に迫っちゃおう!
 <プログラム>
 ♪ディズニー映画『ライオン・キング』メドレー
 ♪『四季』より「冬」/ヴィヴァルディ ほか
 [演奏] 飯田交響楽団と名古屋フィルハーモニー交響楽団による「いいなあオーケストラ」
 [指揮] 中村 真太郎(飯田交響楽団指揮者)



「こどもたちが音楽とともとなかよくなれますように」音楽との“楽しい出会い”をプレゼント。どきどき、わくわく『音楽ひろば』へ出かけよう! 大人の皆さんも楽しめますよ。

2 楽器体験(13:00~14:00) 要申込

楽器とあそぼう
 オーケストラに登場する楽器を見て、さわって、ならしてみよう!
 [体験できる弦楽器]
 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
 [対象] 飯田下伊那の小学生(2023年4月時点)
 [定員] 60名程度(付き添いの保護者は1名のみ)

申し込み詳細はHPへ▶
 問い合わせ先 0265-23-3552
 (オーケストラと友に音楽祭実行委員会事務局)



飯田西中学校と地域の取り組み事例

飯田西中学校区では中学生の地域活動へのボランティア参加が盛んです。地区の運動会、子ども寺子屋、しめ縄作り、人形劇フェスタ...など、様々な行事に多くの生徒が自主的に参加して、大人のスタッフとともに地域を盛り上げてくれています。以前、西中学校の先生が、地域の大人と中学生の関係を、縦でも横でもなく「斜め」の関係と呼んでいたことが印象に残っています。地域の中で褒めたり叱ったりしてくれる大人が、子どもを見守り成長させてくれる。また、大人も協力してくれる中学生の姿を見て刺激を受け、活動がより良いものになる。そんな素敵な関係をつくらうとしています。



連載

いいだコミュニティスクールの取り組み紹介



2023.3 vol.18

18

飯田市教育委員会がお届けする子どもをのびのびと育てる情報誌

2023年3月10日発行 飯田市教育委員会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2334 ☎0265-22-4511

18 2023.3 vol.18

飯田市教育ビジョン

地育力による未来をひらく心豊かな人づくり

飯田市教育委員会がお届けする子どもをのびのびと育てる情報誌



特集! 中学校の部活動が変わります

詳しくは中面へ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



飯田市PTA連合会で

「わが家のSDGsフォトコンテスト」を開催しました。

近年、学校の教育活動においても、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)の考え方を取り入れた学習が展開されています。SDGsは、未来を担う子どもたち、そして保護者のみなさんにとっても重要なテーマです。SDGsに関する啓発活動や家庭における親子での学びのきっかけとするために、PTA連合会では今年度各ご家庭で取り組む「わが家のSDGs」をテーマにした写真を応募しました。入選作品をご紹介しますので皆様のご家庭でも取り組みを始めてみてはいかがでしょうか。

アイデア賞

新しい工夫が感じられる取組み



飯島 明希さん 鼎中学校2年生
 壊れてしまった傘をエコバックにリメイクしています。家族みんなで使っています。



村松 亮汰さん 竜峡中学校3年生
 家庭から流れていく水を汚さないために家族みんなで脱石油製品を使っています。



大久保 武琉さん 伊賀良小学校4年生
 伐採された木を利用して、椎茸やなめこの菌をうち、キノコを育てています。

ユニーク賞

一風変わった面白い取組み



櫻田 琉愛さん 伊賀良小学校5年生
 自作クイズはこちらから
 多くの人にSDGsに興味を持ってもらえるように、SDGsの17のゴールに関するクイズ問題をscratchでプログラミングしました。



橋本 旺雅さん 座光寺小学校1年生
 ヨーイドンでお風呂のスイッチを押したら急いで歯磨き、トイレを済ませて『お風呂がたまりました』の声が聞こえるまでに裸になったら成功!それから電気が安くなる夜10時までに家族全員がリレーで入っていきます。最後の人が出たら洗濯機のスイッチを押してゴール。



渡邊 紗早さん 上郷小学校6年生
 学校から配布されたプリントやお便りの裏面を計算やお絵描きに使っています。余白がなくなるまで計算して資源を無駄にせず、勉強にも使える。まさに、一石二鳥!

シェアリング賞

多くの人が気軽に実践できる取組み



橋本 武宝さん 座光寺小学校3年生
 ゴミを拾っている写真です。ランドセルにビニール袋と軍手を入れてあって、下校でゴミを見つけたら拾っています。



櫻田 望来さん 伊賀良小学校3年生
 10月に稲刈りのお手伝いをして、その時に出た籾殻と藁を使って焼き芋をしました。燃やした籾殻は炭にして、肥料として田んぼや畑に撒きます。



三村 真希さん 座光寺小学校2年生
 ご飯を全部食べてお皿が空っぽになるところ。残さず食べて食品ロスをなくします。



SDGsってなんだろう?

公益財団法人日本ユニセフ協会 持続可能な世界への第一歩 SDGs CLUB
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/#>



中学校の部活動が変わります

中学生が『ウェルビーイング』を感じながら、地域の中でやりたいスポーツ・文化芸術活動に挑戦できる場を目指します。

※ウェルビーイング：楽しい、充実感や成長していることを感じるなどの、心も体も幸せな状態

部活動相談室

まさや 9:50
来年からボクは中学生科学部に入りたいんだけど

さとう先生 既読3 10:00
実は、来年から科学部はなくなるんだよ…

まさや 10:20
え!?

さとう先生 10:22
生徒数が減っていて部員数が少なくなっているからなんだよ

まさや 10:35
他の部活はどうなっているの? バレー部やバスケ部は?

さとう先生 10:35
うちの学校は変わらないけど、他の学校の人数が少ない部活では他の学校と合同で活動しているところもあるよ

まさや 10:52
お母さんやお父さんは部活がなくなっちゃって言うてるんだけど… なくなっちゃうとさびしいな…

さとう先生 10:52
なくなるよ! みんなのやりたいことがどうしたらできるのか地域の皆さんと一緒に考えていくよ

かおる 11:01
私は練習時間のことが気になります

さとう先生 11:01
今の部活は、毎日行わず平日は4日、土日はどちらかが休みなんだ。時間も、平日は2時間程度、休日も3時間程度までとなっているんだよ

かおる 11:25
練習って厳しいんですか?

さとう先生 11:25
やりすぎて心や身体を壊さないように、「指導者の心得6カ条」っていうのがあるんだこれから学校の部活や地域の活動に広めていくよみんなのやる気や主体性を大切にしているよ

さやか 11:45
私は吹奏楽部に入りたいんだけどたまには運動もやりたいな

さとう先生 11:45
全市型競技別スポーツスクールで、レベルに応じたいろんな種目を楽しめるよ。これからは全市型競技別スポーツスクール以外の活動も考えていくよ

さとう先生 12:00
こちらから申し込んでみてね→



部活動の現状と課題

部員数の減少

部活動の過熱化

指導可能な教員の不足

部活動数の学校間格差

部活動の意義と役割

(飯田市中学校部活動の活動指針より)

- 部活動は、各活動に興味や関心をもった同好の生徒が参加し、体力・知識・技能の向上を図る以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員等との好ましい人間関係の構築を図り、自己肯定感や責任感を育むなど、生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有しています。
- 生涯にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ習慣を身に着け生徒が心身ともに健やかに成長する上で重要な活動です。

めざしていく姿

令和5年度から、段階的に休日の部活動が地域の中の活動として行えるようになったり、やりたいスポーツ・文化活動に挑戦できるような活動の場を、地域の実情に応じてつくっていきます。

部活動の意義を引き継ぎながら、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という考えで、学校・家庭・地域・行政が一体となり、単なる部活動の受け皿ではなく生徒がやりたいことにチャレンジできる活動の場を地域の中につくっていきます。

※国や県からも少子化の中でも将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保についての提言がされています。

活動指針

国や県の指針を踏まえて飯田市教育委員会が作成し、全中学校に配布している「飯田市中学校部活動の活動指針」にて示されています。



指導者の心得6カ条

全市型競技別スポーツスクールでは、指導者が保護者とともに子どもの最大の理解者であり最高の応援者となるために、以下のことを大切にしています。

- 1 お互いを認めあえる“人”を育てます。
- 2 プレイヤー自身が“考える”ことを尊重します。
- 3 勝敗よりも、プロセスを重視します。
- 4 ケガやバーンアウト(燃え尽き)から守ります。
- 5 指導のあり方を学び続けます。
- 6 生涯、スポーツを楽しめる大人に育みます。

全市型競技別スポーツスクールと冬季ジブン・チャレンジの取組み

中学生の主体性を尊重した活動であり、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ心を育むために、中学生が自ら選択できる機会をつくっていきます。

- 1 全市型競技別スポーツスクール (公財)飯田市スポーツ協会とともにスポーツをやってみたい、もっとうまくなりたいと願う生徒の皆さんのために、スポーツ活動の新しい場をつくっています。
- 2 冬季ジブン・チャレンジ 完全下校が早まり部活動がオフになる11月～1月を「冬季ジブン・チャレンジ期間」として展開し、この期間に学校の授業や部活動以外での様々な活動を提供しています。

お子さんが心身の健康を保ちながら色々なことにチャレンジして、人生を豊かにしていけるように、保護者の皆さんも一緒に考えていただければ幸いです。